



健康だより

はらた脳神経外科
No.46 Sep. 2010

ご挨拶

院長 原田 範夫



やっと少しは涼しくなったようですが、今年の夏は例年にならない暑い毎日が続き、熱中症などで倒れる人が続出しました。これも地球温暖化と関係があるのかも知れません。皆さんの体調はいかがですか。

当院では、腰痛や下肢痛を持つ腰部脊柱管狭窄症（LSSCS）の患者さんがますます多くなっており、この病気の原因は一番目が骨や軟骨の老化で、二番目が体質です。三番目は仕事や姿勢の関係で腰に無理な荷重がかかり過ぎた人です。そのために加齢とともに症状が進行して、最後には全く動けなくなります。

最も特徴的な症状は、間歇性跛行というもので、ちょっとの距離を歩いただけで足がシビれたり痛んだりして歩けなくなる症状です。このときに立ち止まって腰掛けるか、しゃがんでしばらく休むとシビレが取れてまた歩けます。これを歩くときに繰り返すこととなります。

また腰をまっすぐに伸ばして起立していると下肢がシビレて立つてもいれなくなるのも狭窄症の大きな特徴です。

治療は症状の軽い人では、保存治療（内服・理学療法・注射）で症状が消える人があります。しかし、重症になった人で歩行困難になったり、傷み・シビレのため夜も眠れなくなった方では手術で治すのが一番早道です。

手術は危険で恐ろしいと考えておられる方が多いですが、当院では顕微鏡手術で、安全で精密な手術を行って、好成績を上げております。

お悩みの方は、早めにご相談ください。

腰部脊柱管狭窄症で 平成21年3月に当院で手術

明石 正三さん 69歳 宮城県塩竈市

起稿するにあたり、まず始めに原田先生をはじめ職員の皆様、入院時には本当にありがとうございました。

私は、宮城県塩竈市に住んでおります。ちょうど2年前の5月5日から左のお尻と左足の外側の神経も痛み始め、最初は疲れからきているものと思い、マッサージ機などで揉んでおりました。そのうちに激痛となり、地元のマッサージ師や鍼灸院へ各10回通いましたが、いっこうに痛みは止みません。仙台の整形外科へ数回通院し、1泊入院してのブロック注射で1カ月間は痛みが取れました。これで治ったかと思っていたら、また同じ。その後も、寝ても起きても座っても24時間痛みが続きました。朝起きて20〜30分後くらいまでは立ってられないほどの激痛で、大便でリキむ時もあり、痛み止めの座薬を毎日1〜2回は使っていました。そんな折、友人がはらた脳神経外科の診療案内と健康だよりを持って来ました。杖をつけて歩いていた友人の義兄が、はらた脳神経外科で手術を受け杖がなくても歩けるようになったから行って診てもらったらどうかと心配して来てくれたのが昨年の1月17日の土曜日でした。

私は、ワラをもすがつもりで1月19日(月)仙台駅から新幹線で飛んできました。午前10時過ぎにはらた脳神経外科に着き、原田先生に診察していただき「腰部脊柱管狭窄症」とのことでした。

人生69歳にして初めての入院。これまで病氣1つせ

ず元気いっぱい歩み、仕事にスポーツ、富士登山を始め、山形県の月山縦走十数回、春から秋にかけて山菜採り、家内と国内外の旅行と楽しんできました。「腰部脊柱管狭窄症」の病名を聞いて、もう無理は出来ないな、とその時は思いました。手術をしたらまた前のように元気な生活が出来るのかと、手術の説明を聞いた時に自分の不安な気持ちを質問すると、患者の話を聞いて、やさしくその質問に懇切丁寧に答えていただきました。「明石さん、大丈夫だから。必ず良くなるから」と言っていて、にっこり笑っていた原田先生の笑顔と、長年の経験からくるあの自信ある一言一言を私はすっかり信頼し、手術を即決しました。この先生に任せた、俗に言うマナイタの鯉になるから先生なんとか1日も早くこの激痛を取ってください、と懇願したことを忘れられません。



京都旅行にて

50歳以上の ソフトボール大会



50歳以上の チームメートと 試合前に



3月25日入院、3月27日手術となり、次の日には歩けるなんて考えてもいませんでした。21日間の入院、4月14日退院して、5月10日からソフトボールの試合へ。退院後1カ月で久しぶりのグラウンドで汗を流し、チームメートから、本当に手術したのかとびっくりされ、5月末には、山菜採りにリュックサックを背負って、ワラビ・ゴギミ・ミスなど取りながら3〜4時間の山を駆け巡っても大丈夫でした。

今は手術後1年1カ月になりますが、ソフトボールに山菜採りに、そして家内との京都旅行、もちろん家業のクリーニングも元気で頑張っております。

やはり健康が一番ですね。今更ながら、原田先生に感謝、感謝の気持ちでいっぱいです。

先生もどうぞご自愛なされながら、今後も元気で私のような悩める患者さんを一人でも多く救ってくださいますよう、お願いいたします。

腰部脊柱管狭窄症で手術した KAさん(宮城県栗原市74歳)に、 入院中のお話を伺いました。

手術前の様子を教えてください。

平成20年秋頃から腰の痛みがひどくなりました。大腿部裏側からコムラにかけてはパンパンになり、しびれるようになりました。歩行して、5〜10分するとしびれがひどくなり歩けなくなりました。一旦休憩すると痛みやしびれが落ち着き、また歩くという状況でした。手術前には買い物に行くことも出来ませんでした。

はらた脳神経外科をご存知でしたか？

娘の同僚のご主人がはらた脳神経外科で手術をし、見違えるように回復したという話を聞き、紹介していただきました。

手術と聞いてどう感じましたか？

これまでに手術をしたことが無いので、心配で不安でした。しかし、来院している患者さん方の体験談を聞いたり原田先生の丁寧な説明を聞き、手術を決心することが出来ました。

手術後の様子を教えてください。

心配だった手術後の傷の痛みもあまりなく、手術の翌日から歩行器も使用せずに歩いていたので、周囲の方々に驚かれました。

これまでの足の重いようなだるさやしびれがなく、歩行時のつらさは全くありません。退院してからはきつと以前のように、毎日一万歩の散歩が出来たろうと期待しています。リハビリに励みながら、自由に歩ける生活に感謝して過ごしたいと思っています。

当院へのご意見をお願いします。

原田先生は診察も説明も丁寧で、接して下さると大きな安心感があります。看護師さんは皆親しみやすく、不安なことを尋ねてもいつも明るく丁寧に説明してくれたのも心強かったです。皆さん疲れているそぶりも見せず、にぎにぎと働いておられ、プロ意識を感じさせられました。

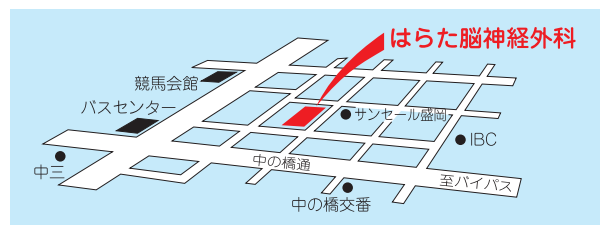
- 院 長 原田範夫
- 非常勤医師 小野芳橘 原田達男
- 診療科目 脳神経外科・整形外科・神経科・精神科
リハビリテーション科(理学診療科)
- 診療時間 月、火、水、金 午前9時～午後6時
木、土 午前9時～午後1時
- 休 診 日 日曜・祝祭日

はらた脳神経外科

〒020-0884 盛岡市神明町10-28

TEL.019(624)3110(代)

メール: harata_neurosurgery@yahoo.co.jp
ホームページ: <http://sv1.harata-n-s.sagasi.jp>



◎ニュー鶯山荘デイサービス、始めました。

介護スタッフによる介護保険サービスです。

営業時間: 金・土・日・月・火

営業時間: 9:30~16:00

送迎車あり

温泉入浴、機能訓練、その他娯楽施設完備

お申し込み: デイサービスニュー鶯山荘

019-695-2301 まで